

製品名: DNA pol β ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10054**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	POLB
別名	POLB; DNA polymerase beta
遺伝子 ID	5423.0
SwissProt ID	P06746
免疫原	抗血清はヒト DNA ポリメラーゼ β 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 286-335

背景

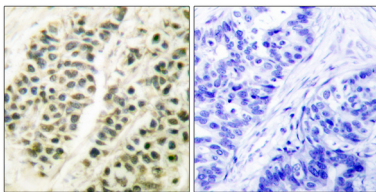
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、塩基除去および修復に関与する DNA ポリメラーゼであり、ギャップフィリング

DNA 合成とも呼ばれます。コードされているタンパク質はモノマーとして作用し、通常は細胞質に存在しますが、DNA 損傷を受けると核に移行します。この遺伝子には複数の転写バリエーションが存在しますが、現在までに全長の性質が報告されているのは 1 つだけです。[RefSeq 提供、2011 年 9 月]、触媒活性: デオキシヌクレオシド三リン酸 + DNA(n) = ニリン酸 + DNA(n+1)、補因子: サブユニットあたり 2 個のマグネシウムイオンを結合する、ドメイン: 残基 239~252 は柔軟なループを形成し、ポリメラーゼの忠実性に影響を与えると考えられます。機能: 修復ポリメラーゼ。他の DNA ポリメラーゼのようにプロセッシブな様式ではなく、段階的な分配様式で「ギャップフィリング」DNA 合成を行います。5'-デオキシリボース-5-リン酸リアーゼ (dRP リアーゼ) 活性を有する。PTM:PRMT6 によるメチル化は、DNA 結合とプロセッシング能力を高めることでポリメラーゼ活性を刺激する。類似性:DNA ポリメラーゼ X ファミリーに属する。サブユニット:モノマー。

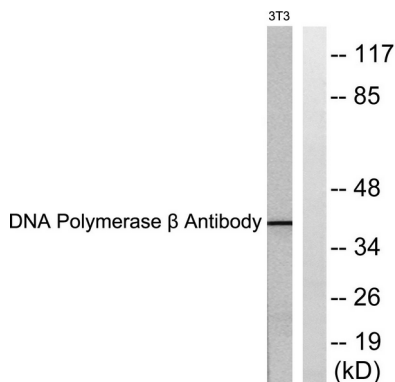
研究分野

塩基除去修復

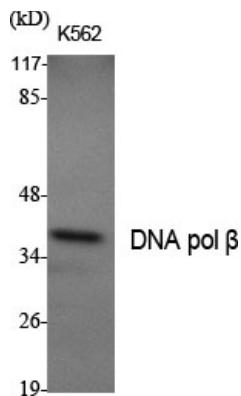
画像データ



DNA ポリメラーゼ β 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



NIH/3T3 細胞ライセートの DNA ポリメラーゼ β 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DNA pol β ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

DNA pol β ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析

